



松籟荘「家族の会」たより

第62号（令和2年6月29日発行）



お誕生日おめでとうございます

6月 禮子さん（72歳） 道子さん（97歳） さた子さん（90歳） ミイ子さん（76歳）
 7月 ひさ子さん（88歳） ともさん（87歳） 義勝さん（80歳） 京子さん（78歳） 節子さん（92歳）
 フミヨさん（99歳） トミさん（92歳） 敏さん（91歳） きんさん（94歳） キクアさん（87歳）

新型コロナウイルスの 3つの顔を知ろう！

新型コロナウイルスによる感染が流行し、第2波・第3波が心配される状況ですが、実はこのウイルスが怖いのは「3つの感染症」という顔があることです。知らず知らずのうちに私達も影響を受けていることを皆さんはご存じですか？日本赤十字社で出した資料に“なるほどな！”という情報がありましたので、皆様にも知って頂ければと思います。

◆3つの“感染症”はつながっている

（1）第1感染症は「病気」そのもの

このウイルスは感染者との接触でうつることが分かっています。感染すると風邪症状や重症化して肺炎を引き起こします。

（2）第2の感染症は「不安と恐れ」

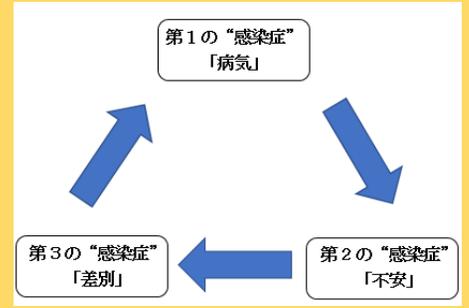
このウイルスは見えません。ワクチンや特効薬もまだ開発段階です。分からないことが多いため私達は強い不安や恐れを感じ、振り回されてしまいます。それらは私達の心の中で膨らみ気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。

（3）第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そしてウイルス感染にかかわる人や対象者を日常生活から遠ざけたり、差別するなど人と人の信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

◆なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのか？

“見えない敵”であるウイルスであるだけに、どうしても人は不安を持ってしまいます。そして、特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする、心理的な動きが生じます。敵はウイルスにもかかわらず、特定の人を敵として捕らえてしまうようになってしまうのです。さらに嫌悪の対象を偏見・差別し、遠ざけることで本当の敵が見えなくなり、つかの間の安心感を得られるようになってしまうのです。

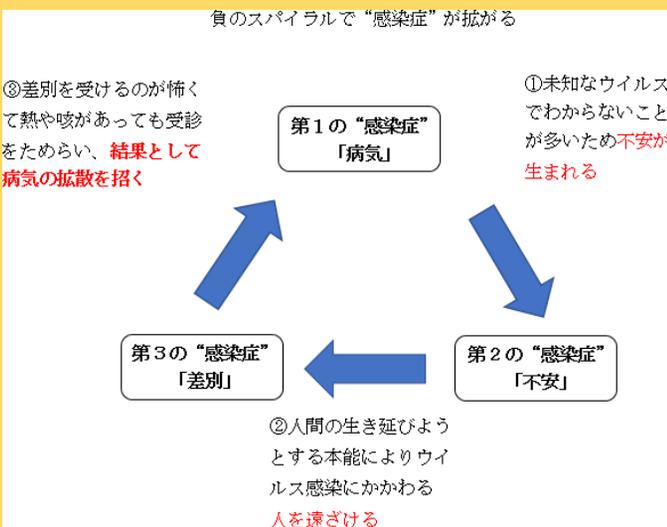


◆負のスパイラルで“感染症”が広がる

この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながっていくことにあります。皆さんもウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いたり、なにかとウイルスに結びつけて考えたりはしていませんか？「あの人咳してる…コロナ？」 「あの地域はコロナが流行っているから…」 「熱があるけどコロナ疑いをされるから黙っていよう…」など、このように思い、行動することから感染症は広がっていきます。

◆3つの“感染症”を防ぐために

まず1人1人が衛生行動を徹底しましょう。「手洗い（消毒）」 「咳エチケット（マスクをつける）」 「人混みを避ける（三密回避）」が大事です。そして「不安」に振り回されないように「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を高めましょう。皆さん、それぞれの場所で、感染拡大をしないように努力をしています。この事態に対応しているすべての方々に労いと敬意を持つと共に、それぞれの立場でできることを行い、負のスパイラルを断ち切りましょう！



第3回 松籟荘プチ夏祭りについて

大規模なイベントや密集する状況が作れない中であっても、入居者さんの楽しみや娯楽を行えないかと施設内で検討を重ね、今年度は施設内で開催数を分けて「プチ夏祭り」を開催することになりました。本来はご家族様をお呼びして開催したいところなのですが、ボランティアさんなどの催し物も行わず、施設職員と入居者で「たこ焼」「かき氷」「ゲーム」などを行い少しでも楽しんで頂けたらと思っております。



家族の会会費の活用について

様々なイベントや家族様との交流等に使用している「家族の会会費」について、中々、イベント等を開催することが出来ない状況にあります。そこで施設と家族の会役員の方で検討し、入居されている家族様の楽しみやご家族様との面会時に使用する消毒薬等の購入にその費用を当てさせて頂くことになりました。今後もできる限り、入居者・ご家族様のために有効活用を行いたいと思っておりますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。